



2026年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年4月10日
東

上場会社名 株式会社セイヒョー 上場取引所
 コード番号 2872 URL <https://www.seihyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 周一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 安藤 力 (TEL) (025) 386-9988
 定時株主総会開催予定日 2026年5月26日 配当支払開始予定日 2026年5月27日
 有価証券報告書提出予定日 2026年5月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期の業績 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	4,796	6.9	35	△63.2	54	△55.6	11	△90.3
2025年2月期	4,484	5.3	96	76.4	123	85.9	119	94.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年2月期	8.19	—	0.7	1.4	0.7
2025年2月期	85.68	—	8.9	3.9	2.1

(参考) 持分法投資損益 2026年2月期 ー百万円 2025年2月期 ー百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期	3,989	1,500	37.6	1,069.28
2025年2月期	3,289	1,395	42.4	1,000.20

(参考) 自己資本 2026年2月期 1,500百万円 2025年2月期 1,395百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年2月期	44	△127	△11	234
2025年2月期	34	△80	160	329

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年2月期	—	—	—	18.00	18.00	25	21.0	1.8
2026年2月期	—	—	—	18.00	18.00	25	219.5	1.7
2027年2月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00		42.0	

3. 2027年2月期の業績予想 (2026年3月1日～2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,800	22.6	230	22.1	230	13.5	160	20.1	114.28
通期	6,000	25.0	126	256.1	126	131.0	95	727.7	67.85

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期	1,620,993株	2025年2月期	1,620,993株
② 期末自己株式数	2026年2月期	217,598株	2025年2月期	226,198株
③ 期中平均株式数	2026年2月期	1,400,043株	2025年2月期	1,394,642株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページの「1. 経営成績等の概況(3)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	9
製造原価明細書	11
(3) 株主資本等変動計算書	12
(4) キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の緩やかな改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られました。一方で、米国における通商政策の動向や金融引締め長期化懸念に加え、ウクライナ情勢の長期化や中東地域における紛争の激化により、原油価格が上昇するなど資源・エネルギー価格を巡る不透明感が高まっております。また、国内においては物価上昇の影響が家計や企業活動に及びつつあり、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

国内食品業界においては、原材料価格の高騰や人件費、物流費の上昇に伴う商品価格の値上げが継続的に行われております。加えて、中東情勢の緊迫化等を背景とした原油価格の動向を受け、原材料や物流を含む調達面の状況についても、引き続き注視が必要な状況となっております。このような環境下、消費者の節約志向は依然として強く、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社は、厳しい事業環境の変化に柔軟に対応し、持続的な成長を実現するための取り組みを進めてまいりました。その一環として、2025年8月27日付「固定資産の取得に関するお知らせ」で公表のとおり、2025年10月31日付で森永北陸乳業株式会社富山工場の生産設備を含む資産を取得いたしました。本件は、旺盛な需要に的確に対応するための生産能力増強を目的とした戦略的投資であり、新工場の建設と比較して投資額を大幅に抑制しつつ、短期間で供給体制の強化を図るものです。今後、富山工場は当社グループにおける生産の中核を担う拠点として、安定的な製品供給と事業基盤の強化に寄与していくものと考えております。当社は、外部環境の変動に左右されることなく、持続的かつ安定的な利益の確保に努めるとともに、従業員一人ひとりが自身と会社の成長を実感できる働きがいのある職場環境づくりを進め、これらの取り組みを通じて一層の企業価値向上を目指してまいります。なお、富山工場の取得により、当社を取り巻く生産体制や事業環境が従来の想定から大きく変化していることを踏まえ、現行の「中期経営計画2027」については一旦取り下げ、その前提条件を整理することといたしました。今後は、富山工場の稼働状況や業績への寄与を含め、事業の進捗状況や外部環境の変化を総合的に勘案し、新たな中期経営計画の公表時期について慎重に検討してまいります。

当事業年度の売上高は、主力であるアイスクリーム部門において、自社製品のかき氷カップや前事業年度に発売したヨーグルト風味アイスバー、カフェオレ風味アイスバーなどが好調に推移したほか、当事業年度は新たに「Marone（マロネ）」シリーズを発売するなど、新商品の販売にも注力しました。OEM製品についても堅調に推移しており、新潟工場は高い稼働率を維持しております。天候面では、夏季には全国各地で最高気温を更新するなど猛暑日が増加した一方、8月以降は降雨の影響により氷菓の販売が一時的に停滞いたしました。その他、和菓子部門では越後名物「笹だんご」が低調に推移したものの、仕入販売・物流保管部門は概ね横ばいで推移いたしました。この結果、売上高は4,796百万円（前期比6.9%増）となりました。

①部門別売上高の概況

[アイスクリーム部門]

当事業年度のアイスクリーム部門の売上高は、3,534百万円（前期比10.4%増）となりました。自社製品は1,334百万円（前期比10.1%増）と当社の強みである氷菓を中心に引き続き好調に推移しました。かき氷カップに加え、前事業年度に発売したヨーグルト風味アイスバーやカフェオレ風味アイスバーが堅調に推移したほか、当事業年度には「Marone（マロネ）」シリーズに加え、グレープフルーツ氷バーやピーチ氷バーなどの新商品を発売するなど、商品ラインアップの拡充を通じた販売強化に注力いたしました。OEM売上は2,160百万円（前期比11.0%増）と主要取引先である森永乳業株式会社向けを中心に堅調に推移しております。

[仕入販売部門]

当事業年度の仕入販売部門の売上高は、676百万円（前期比0.6%増）となりました。流通構造の変化に伴い一部の取引先においてメーカー直接取引への移行が進んだ影響を受けた一方、佐渡の観光需要回復に伴うホテル・飲食店向けの業務用商品が好調に推移いたしました。

[和菓子部門]

当事業年度の和菓子部門の売上高は、351百万円（前期比6.1%減）となりました。和菓子部門の主力製品である新潟銘菓「笹だんご」が販売価格転嫁の影響により前期比6.43%減と低調に推移いたしました。

[物流保管部門]

当事業年度の物流保管部門の売上高は、234百万円（前期比1.5%減）となりました。冷凍品の保管需要は依然として高いものの、自社製品・寄託品ともに季節ごとの需要変動が大きいことから、効率的な保管スペースの確保が引き続き課題となっております。

②損益の概況

損益面につきましては、昨年同様、原材料価格や物流コストの上昇、エネルギーコストの高止まりや人件費の高騰といった製造コストの上昇が続いているほか、運搬保管料等の販管費が増加いたしました。また、富山工場の取得に伴い、安定稼働に向けた設備の改修や試運転に係る費用が発生したことから、一時的にコストが増加いたしました。この結果、営業利益は35百万円（前期比63.2%減）、経常利益は54百万円（前期比55.6%減）、当期純利益は11百万円（前期比90.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当事業年度末における総資産は前事業年度末に比べ700百万円増加し、3,989百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少額94百万円、売掛金の増加額203百万円、商品及び製品の増加額81百万円、建物(純額)の増加額230百万円、機械及び装置(純額)の増加額98百万円、土地の減少額83百万円、投資有価証券の増加額143百万円等によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債は前事業年度末に比べ594百万円増加し、2,488百万円となりました。これは主に短期借入金の減少額400百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加額100百万円、長期借入金の増加額369百万円、資産除去債務の増加額223百万円等によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は前事業年度末に比べ105百万円増加し、1,500百万円となりました。これは主に繰越利益剰余金の減少額13百万円、自己株式の減少額13百万円、その他有価証券評価差額金の増加額97百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ94百万円減少し、当事業年度末の資金は234百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは44百万円の収入(前期は34百万円の収入)となりました。これは主に税引前当期純利益64百万円、減価償却費169百万円、売上債権の増加額203百万円、棚卸資産の増加額112百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは127百万円の支出(前期は80百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出567百万円、有形固定資産の売却による収入447百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは11百万円の支出(前期は160百万円の収入)となりました。これは主に短期借入金の純減額400百万円、長期借入による収入500百万円、長期借入金の返済による支出30百万円、リース債務の返済による支出37百万円、配当金の支払額24百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期
自己資本比率(%)	52.5	52.1	43.8	42.4	37.6
時価ベースの自己資本比率(%)	63.1	198.7	85.6	89.3	72.8
キャッシュ・フロー対有利子負債(年)	1.3	1.9	4.3	27.3	22.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	36.4	19.5	16.1	2.5	2.4

・自己資本比率：自己資本／総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

・キャッシュ・フロー対有利子負債：有利子負債／キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注) 2 キャッシュ・フロー及び利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー及び利息の支払額を使用しております。

(注) 3 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(3) 今後の見通し

主力のアイスクリーム部門においては、富山工場が通年で寄与することにより、生産体制の強化を通じたOEM需要の取り込みが進むとともに、主力製品であるかき氷カップを中心とした売上拡大を見込んでおります。また、自社製品においては、「Marone（マロネ）」シリーズのラインアップ拡充を含む新商品の投入により、ブランド認知の向上を図ってまいります。

一方で、原材料価格や物流費用につきましては、中東情勢の影響を含め、足元の市況やこれまでの動向を踏まえたうえで、現時点で把握可能な範囲において一定の影響を考慮しておりますが、先行きについては引き続き不確実性の高い状況が続いております。

これらの状況を踏まえ、2027年2月期通期業績予想につきましては、売上高は6,000百万円（前期比25.0%増）、営業利益126百万円（前期比256.1%増）、経常利益126百万円（前期比131.0%増）、当期純利益95百万円（前期比727.7%増）となる見込みであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、国際的な事業展開や資金調達を行っておらず、連結財務諸表の作成も行っていないため、日本基準に基づき財務諸表の作成を行っております。

I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、今後の事業展開や他社との比較可能性を踏まえ、検討してまいります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	329,432	234,513
売掛金	357,330	560,809
商品及び製品	705,476	786,714
仕掛品	3,711	2,538
原材料及び貯蔵品	127,130	159,332
未収消費税等	23,427	—
前払費用	13,798	21,662
その他	30,739	56,576
貸倒引当金	△3,536	△5,856
流動資産合計	1,587,510	1,816,291
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,083,763	2,344,882
減価償却累計額	△1,807,671	△1,838,090
建物(純額)	276,092	506,791
構築物	206,351	208,077
減価償却累計額	△137,625	△143,159
構築物(純額)	68,725	64,917
機械及び装置	1,430,913	1,557,967
減価償却累計額	△1,157,373	△1,185,805
機械及び装置(純額)	273,539	372,161
車両運搬具	10,473	11,371
減価償却累計額	△9,265	△8,299
車両運搬具(純額)	1,208	3,071
工具、器具及び備品	55,323	66,958
減価償却累計額	△48,300	△45,478
工具、器具及び備品(純額)	7,022	21,480
土地	653,300	569,703
リース資産	351,195	393,742
減価償却累計額	△138,285	△151,717
リース資産(純額)	212,910	242,024
建設仮勘定	935	41,140
有形固定資産合計	1,493,734	1,821,290
無形固定資産		
ソフトウェア	14,136	13,064
リース資産	417	—
電話加入権	1,361	1,361
無形固定資産合計	15,915	14,426

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2026年2月28日)
投資その他の資産		
投資有価証券	115,667	259,615
出資金	1,068	1,068
破産更生債権等	201	—
長期前払費用	39,093	37,770
差入保証金	34,450	34,942
その他	1,637	3,901
貸倒引当金	△212	△23
投資その他の資産合計	191,905	337,274
固定資産合計	1,701,556	2,172,990
資産合計	3,289,066	3,989,282
負債の部		
流動負債		
買掛金	376,605	443,779
短期借入金	850,000	450,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	—	100,008
リース債務	35,090	39,491
未払金	67,657	83,738
設備関係未払金	24,537	94,653
未払費用	54,396	75,491
未払法人税等	14,479	25,888
未払消費税等	—	1,513
預り金	3,429	9,368
賞与引当金	41,887	53,527
その他	4,162	3,765
流動負債合計	1,492,246	1,401,224
固定負債		
社債	80,000	60,000
長期借入金	—	369,990
リース債務	186,785	212,581
繰延税金負債	5,961	76,836
退職給付引当金	92,620	100,365
資産除去債務	15,124	238,763
長期預り保証金	—	5,000
長期未払金	21,251	23,889
固定負債合計	401,743	1,087,425
負債合計	1,893,990	2,488,650

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2026年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417,297	417,297
資本剰余金		
資本準備金	223,942	223,942
その他資本剰余金	1,091	8,957
資本剰余金合計	225,034	232,900
利益剰余金		
利益準備金	37,500	37,500
その他利益剰余金		
別途積立金	750,000	750,000
繰越利益剰余金	233,347	219,717
利益剰余金合計	1,020,847	1,007,217
自己株式	△331,078	△317,750
株主資本合計	1,332,100	1,339,665
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	62,975	160,966
評価・換算差額等合計	62,975	160,966
純資産合計	1,395,075	1,500,631
負債純資産合計	3,289,066	3,989,282

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
売上高	4,484,618	4,796,658
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	455,484	705,476
当期商品仕入高	537,926	525,605
当期製品製造原価	3,328,904	3,507,581
合計	4,322,314	4,738,664
商品及び製品期末棚卸高	705,476	786,714
売上原価合計	3,616,838	3,951,949
売上総利益	867,780	844,709
販売費及び一般管理費		
運搬保管費	280,480	333,687
販売手数料	5,817	5,854
貸倒引当金繰入額	△682	2,332
広告宣伝費	9,823	7,582
役員報酬	47,403	64,547
給料及び手当	150,480	150,812
賞与引当金繰入額	30,845	33,437
退職給付費用	3,923	3,011
福利厚生費	37,631	39,838
旅費及び交通費	4,717	8,001
通信費	7,727	12,078
賃借料	11,104	20,751
租税公課	16,849	16,813
交際費	3,074	3,263
減価償却費	19,174	21,161
雑費	143,108	86,161
販売費及び一般管理費合計	771,479	809,335
営業利益	96,300	35,373
営業外収益		
受取利息	352	565
受取配当金	3,964	6,614
不動産賃貸料	13,633	13,692
受取手数料	4,315	4,515
設備負担金収入	—	10,831
その他	22,410	4,711
営業外収益合計	44,676	40,930

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
営業外費用		
支払利息	13,514	17,486
不動産賃貸費用	1,943	1,943
その他	2,448	2,348
営業外費用合計	17,906	21,777
経常利益	123,070	54,526
特別利益		
固定資産売却益	308	19,075
特別利益合計	308	19,075
特別損失		
減損損失	—	6,739
固定資産除却損	743	2,790
特別損失合計	743	9,530
税引前当期純利益	122,635	64,070
法人税、住民税及び事業税	13,658	27,675
法人税等調整額	△10,528	24,917
法人税等合計	3,130	52,593
当期純利益	119,504	11,476

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)		当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	2,028,480	60.9	2,057,249	58.7
II 労務費		559,080	16.8	632,281	18.0
III 経費		742,850	22.3	816,878	23.3
当期総製造費用		3,330,411	100.0	3,506,409	100.0
仕掛品期首棚卸高		2,203		3,711	
合計		3,332,615		3,510,120	
仕掛品期末棚卸高		3,711		2,538	
当期製品製造原価		3,328,904		3,507,581	

(注) ※1 経費の主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
電力費	209,795	215,154
減価償却費	144,540	147,886
運搬費	77,820	87,525
修繕費	84,542	76,625

※2 原価計算の方法は、製品種類別の総合原価計算によっております。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	417,297	223,942	12	223,955	37,500	750,000	137,539	925,039
当期変動額								
剰余金の配当							△23,696	△23,696
当期純利益							119,504	119,504
自己株式の取得								
自己株式の処分			1,079	1,079				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	1,079	1,079	—	—	95,808	95,808
当期末残高	417,297	223,942	1,091	225,034	37,500	750,000	233,347	1,020,847

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△333,200	1,233,091	46,080	46,080	1,279,171
当期変動額					
剰余金の配当		△23,696			△23,696
当期純利益		119,504			119,504
自己株式の取得	△226	△226			△226
自己株式の処分	2,347	3,427			3,427
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			16,894	16,894	16,894
当期変動額合計	2,121	99,009	16,894	16,894	115,904
当期末残高	△331,078	1,332,100	62,975	62,975	1,395,075

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	417,297	223,942	1,091	225,034	37,500	750,000	233,347	1,020,847
当期変動額								
剰余金の配当							△25,106	△25,106
当期純利益							11,476	11,476
自己株式の取得								
自己株式の処分			7,866	7,866				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	7,866	7,866	—	—	△13,629	△13,629
当期末残高	417,297	223,942	8,957	232,900	37,500	750,000	219,717	1,007,217

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△331,078	1,332,100	62,975	62,975	1,395,075
当期変動額					
剰余金の配当		△25,106			△25,106
当期純利益		11,476			11,476
自己株式の取得	△122	△122			△122
自己株式の処分	13,449	21,316			21,316
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			97,990	97,990	97,990
当期変動額合計	13,327	7,564	97,990	97,990	105,555
当期末残高	△317,750	1,339,665	160,966	160,966	1,500,631

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	122,635	64,070
減価償却費	163,715	169,048
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,797	7,745
減損損失	—	6,739
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,130	11,640
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,169	2,130
受取利息及び受取配当金	△4,317	△7,179
設備負担金収入	△2,346	△10,831
支払利息	13,514	17,486
有形固定資産売却損益 (△は益)	△308	△19,075
固定資産除却損	743	2,790
売上債権の増減額 (△は増加)	71,025	△203,478
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△270,408	△112,268
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△23,427	23,427
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△651	△24,710
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,630	67,173
未払金の増減額 (△は減少)	10,683	16,080
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△25,541	1,513
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,995	21,077
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△527	5,445
差入保証金の増減額 (△は増加)	△333	△491
その他	24,244	28,164
小計	51,976	66,498
利息及び配当金の受取額	4,317	7,179
利息の支払額	△13,562	△18,226
設備負担金の受取額	3,042	5,664
法人税等の支払額	△11,086	△16,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,687	44,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△76,275	△567,831
有形固定資産の売却による収入	308	447,630
有形固定資産の除却による支出	—	△2,284
無形固定資産の取得による支出	△4,955	△4,070
その他	395	△1,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,527	△127,814
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	—	△30,002
社債の発行による収入	100,000	—
社債の償還による支出	—	△20,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	115,000	△400,000
リース債務の返済による支出	△31,250	△37,117
自己株式の取得による支出	△226	△122
配当金の支払額	△23,370	△24,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	160,152	△11,948
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	114,312	△94,918
現金及び現金同等物の期首残高	215,119	329,432
現金及び現金同等物の期末残高	329,432	234,513

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、冷凍食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を越えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を越えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高
森永乳業株式会社	1,113,258
株式会社日本アクセス	556,036
イオントップバリュ株式会社	528,238

(注) セグメント情報との関連は、単一セグメントであるため記載を省略しております。

当事業年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を越えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を越えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高
森永乳業株式会社	1,176,086
イオントップバリュ株式会社	607,035
株式会社日本アクセス	599,194

(注) セグメント情報との関連は、単一セグメントであるため記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社は、冷凍食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)		当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)	
1株当たり純資産額	1,000.20円	1株当たり純資産額	1,069.28円
1株当たり当期純利益	85.68円	1株当たり当期純利益	8.19円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

1株当たり純資産額

項目	前事業年度 (2025年2月28日)	当事業年度 (2026年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	1,395,075	1,500,631
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,395,075	1,500,631
普通株式の発行済株式数(株)	1,620,993	1,620,993
普通株式の自己株式数(株)	226,198	217,598
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	1,394,795	1,403,395

1株当たり当期純利益

項目	前事業年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当事業年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
当期純利益(千円)	119,504	11,476
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	119,504	11,476
普通株式の期中平均株式数(株)	1,394,642	1,400,043